



2025年4月30日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー ニ ー
代 表 者 名 代表取締役社長 工藤 智昭
(コード番号：6562 東証グロース)
問 合 せ 先 上級執行役員(CFO)兼 菊川 淳
投資戦略部部長
(TEL. 03-5909-8177)

グループ会社JAPAN AI株式会社が RAG技術の精度評価で業界最高水準の82.7%を達成

株式会社ジーニー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下「当社」）のグループ会社であるJAPAN AI株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下「JAPAN AI」）は独自開発したRAG技術（独自に行っているRAGの仕組み構築）において、主要クラウドベンダーと比較して最高水準の検索精度を達成したことをお知らせいたします。

1. 背景

RAG（検索拡張生成）技術の精度向上は、大規模言語モデル（LLM）の回答精度を高める上で不可欠ですが、従来のRAGにはハルシネーション（事実に基づかない回答）が発生しやすいという課題がありました。「Agentic RAG」技術を利用することでこの課題を克服し、高精度な情報検索と回答生成を実現することで、AI導入の障壁を低減し、企業のデジタルトランスフォーメーションを加速させます。

2. 概要

JAPAN AIは、独自開発したRAG技術（独自に行っているRAGの仕組み構築）により、主要クラウドベンダーを上回る検索精度を実現しました。本技術は、企業内の文書データベースから必要な情報を高精度で検索・抽出し、的確な回答を生成するAIソリューションです。今回の検証では、複数の大規模言語モデルを用い、模範解答との意味的な類似性・一致性を考慮した正答率指標により評価を実施しました。約300の質問に対する回答でJAPAN AIは82.7%という高い正答率を記録し、A社（51.2%）、B社（71.4%）を上回る結果となりました（JAPAN AI調べ）。これにより、JAPAN AIの技術が高い検索精度と情報再現性を有することが実証されました。

また、JAPAN AIのRAGは単なる情報検索にとどまらず、回答に正当性があるかを自ら思考し、より適切な代替案を提示する「Agentic RAG」技術を利用しています。複数情報源の参照や回答内容の整合性チェックを通じて、最適な回答を導き出すことが可能です。

今後は、AIエージェントが文書内容を理解・構造化し、検索性と網羅的な情報抽出を高めるとともに、企業ごとの多様なニーズに応じたカスタマイズにも対応してまいります。

3. JAPAN AI について

JAPAN AI は「企業が1社に一つオリジナルのAIを持つ時代を創る。AIは働く人をサポートし、圧倒的な生産性を実現する。」というビジョンを掲げ、最新のAI技術を活用したプロダクトやサービス提供を通じて、多様な業界での事業拡大や産業の発展に貢献していきます。

URL : <https://japan-ai.co.jp/>

4. 今後の見通し

本件による、当社連結業績への影響は、軽微であると見込んでおります。